

原村の地域おこし協力隊が発行するかわらばんのことです。  
原村で暮らす、おもしろくて素敵なひとを紹介します。

NO.3

## 清水 俊明さん

「原村の清水さんち」

65歳

「新しい人が新しい人を  
繋げてくれる連鎖が楽しい。  
原村に戻ってきてよかったです。」

原村で生まれ育った清水俊明さんは、神奈川県で35年間中学校の理科の教員をされていた。

定年退職まで3年を残して退職し、57歳の時に原村にUターン。長男ということもあり、当初は仕方なくという気持ちで戻ってきたが、それが今では「戻ってきて本当によかったです」と笑顔。戻ってきてよかったですと思えたきっかけは?と尋ねると、「なんと言っても人。新しい人との繋がりができる、その人がまた新しい人を繋げてくれる。これは都会ではなかなかできなかったから。それが楽しい。」と清水さん。都会でバリバリ働いていた人が新しいライフスタイルを求めて移り住む。面白い人が不思議と集まるのが原村なのだと改めて思った。

### 「ベリーを使った原村ブランドを作りたい。」

現在はブルーベリーをはじめ、ラズベリー・ブラックベリー・カシス・シーベリー・グーズベリーなど6種類を中心に栽培しながらカフェをやんでいる。様々な活動にも参加され大忙しの清水さんだが、今後新たに挑戦したいことがあるのか訊ねると、「今年からドライベリーを販売する予定をしており、庭に加工所となる小屋を作成中。来年はベリーソースの販売を目指している。ベリーを使って原村ブランドを作りたいな。」と、今後の展望を楽しそうに語ってくれた。

原村産ベリーソースの出来上がりが楽しみだ。

清水さんちにはいつも人が集まっていて、みんなそれぞれ言いたいことを言って帰って行く。それをにっこりと受け止め、時にはたしなめてくれる清水さん。私たち協力隊も悩んだり落ち込んだりすると清水さんちに行きます。みんなの駆込み寺のような存在です。

市民ガルテンの様子等  
掲載しています♪  
[hara-okoshi.jimdo.com](http://hara-okoshi.jimdo.com)



### 取材を終えて一言



OJIMA



HIRAOKA

清水さんは話をよく聞いてくださり、中立的にものごとを見た上で、筋道を立ててお話ししてくださいるので、わかりやすくさすが学校の先生!となります。ベリーのワッフルやスマージー、パスタもおいしいですよ。疲れたら清水さんちで一息どうぞ!



instagram やってます♪

[https://www.instagram.com/haramura\\_nagano/](https://www.instagram.com/haramura_nagano/)